

石材の保守取扱説明書

石と共に生きる



はじめに

建築物の内外装に用いられて天然石材は、主として大理石系・花崗岩系などがあり、石の模様やたくさんの色、柄が人造素材にはないよさを表現してくれるでしょう。また、演出する建築を美しく、しなやかに具現化してくれる最高の素材です。

しかし、これらもいずれはシミや汚れが付いたり、角欠けが生じたりします。また日常の手入れと予備知識によりある程度は防げると思われます。少しでも永く保持するには以下のことを守って下さい。

注意事項

- 1) 石材は石という観念で一般的には硬く丈夫だと思われがちですが、さまざまな成分が結合してできた物なので重いものを落とせば割れたり欠けたりします。また硬いものでこすればキズがついたりするので、物を落としたり、ぶつけないでください。
- 2) 石の角も非常に脆いですから、巾木・框・カウンターなどの角部には硬い物をあてないようにしてください（特に、引っ越し時や日常に物を移動するときは、十分に毛布などで養生してください。）キズや欠け、割れの原因となります。
- 3) 石材にドリルで穴をあけ、物を吊らないでください。穴の部分から脆くなり割れたりひびが入ったりする原因となります。
- 4) 大理石の表面は水気に弱いので散水や水びだしのダスターがけは避けてください。繰り返し行いますと表面がだんだんと劣化したり光沢がなくなったりします。
- 5) 石材は吸収性があるため下記の汚れに注意してください。（しみこんでしまうとシミを抜くことはできません。）
 - ・オイル等の油類。
 - ・ベニヤ板、段ボール紙のあく。
 - ・色布等の顔料
 - ・油性、水性のインク類。
 - ・煙草のヤニ。
 - ・赤土など。
 - ・コーヒー、コーラ、ジュース類のシミ。
- 6) 酸、アルカリなどの薬品は絶対に使用しないでください。表面の艶がなくなったり、酸焼けで変色します。

メンテナンス方法

1) 日常清掃

石の表面をダスターがけし（掃き出し）を行い、埃 土砂を除去し同時に固着物を除去してください。基本的には空拭きですが、特に汚れがひどい個所は、硬く絞った清潔な柔らかい白い布で部分的に水拭きをし、最後に空拭き仕上げをしてください。また 酸、アルカリ等の薬品は使用しないでください。

2) 定期清掃

日常清掃を行っていても汚れは付着します。そのため、ある一定期間ごとに専門業者による清掃を行ってください。その際、弊社にご連絡いただければ専門業者を手配します。この場合の清掃は有償となりますがご了承ください。

専門工事業者へ依頼すべき事項

注意事項で述べたように角欠けの発生や非常に落ちにくい汚れに関しては完全に消すのは無理ですが、ある程度目立たなくすることはできます。これらが生じた場合は石材施工の専門工事業者にご依頼ください。但し、弊社等、専門業者へのご依頼は有償となりますのでご了承ください。

(連絡先)

株式会社 石森

〒569-1147 大阪府高槻市土室町14-10

電話：072-696-2084

FAX：072-696-2153

メール：kishimori@almond.ocn.ne.jp